

令和 8 年 6 月 29 日

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

事業所名称…グループホーム大森の家

サービス種類…認知症対応型共同生活介護

会議開催日…令和 8 年 6 月 26 日

開催場所…事業所内ホール

出席者

事業所	3 人	利用者	0 人
利用者家族	2 人	地域代表者	0 人
松江市職員	0 人	包括支援センター	1 人
知見を有する者	0 人	その他 ()	0 人

議事

1、入居者状況

4 月 24 日現在 18 名入居中

男性 3 名 女性 15 名

平均介護度 2.6 平均年齢 88.4 歳

2、活動報告

5 月 10 日 母の日茶話会

5 月 19 日 バラ園訪問

5 月 28 日 130 匹の鯉のぼり（八雲町意宇川）見学ドライブ

6 月 6 日～ 老人健診開始

6 月 9 日 ハッピー号来所

6 月 10 日 避難訓練

6 月 15 日 笹巻き作り

【今後の予定】

7 月～10 月 老人健診

7 月初旬 七夕

8 月初旬 夏祭り

3、状況報告（5 月～6 月）

【利用者様について】

5 月 19 日のバラ園訪問については、現地の足場の状態から、比較的歩行に問題がない利用者様に参加していただいたが、施設内での歩行には問題がなくても、少しの段差や平らでない場所での歩行はかなり難しくなっている利用者様が多くおられることがわかった。外出する時には、補助する職員の同行が必要となるので、1 回に外出する際の利用者様の人数を減らし、何度かに分ける必要があると感じた。

5月28日の鯉のぼり見学ドライブでは、車両から下車することなく、車窓から楽しんでいただいた。このような形であれば、同行する職員も大勢は必要なく、多くの利用者様に参加いただけたらと思った。

屋内での生活だけでは感じにくくなる、自然や季節などを感じていただくためにも、今後こういった形の外出の機会を増やしていきたい。

6月10日の避難訓練では天候にも恵まれ、出火の発見から3分56秒で、利用者様、職員全てが屋外への避難を完了することが出来た。実際の火災発生時には、訓練のように避難を準備した状態で待機しているわけではないので、避難をすることは容易ではないと考えられる。

施設にはスプリンクラーも設置されており、初期消火を徹底して行うことで、避難していただく必要がない状態に出来るようにすることが最善の対応だと考えられる。

今回は簡易な訓練であったが、秋の訓練時には、消火訓練を行い。初期消火の方法を身につけたいと思う。

【研修について】

4月から再開した令和8年度の動画研修を受講中

7月3日から実務者研修受講開始予定（1名）

意見交換

（施設）今回の避難訓練は、日中を想定したものだったため、職員も多く、避難誘導もスムーズに行うことが出来ていたが、夜間の火災発生時には夜勤者2名で対応することになると思うので、夜間を想定した訓練も行う必要があると思われる。

（家族）実際の火災発生時には避難誘導の方に人手が必要で、消火に対応できる人員はいないのではないか。

（施設）火災が発生した場合は、火元から出来るだけ離れた場所に、一旦すべての利用者様を誘導し、職員一人で見守りをできる状況にしてから、初期消火に向かい、消防車や応援の到着を待つような形になると考えられる。

避難が必要な状況にならないことを願うしかないが、いざ起こった場合には冷静に対応できるよう、日頃からの訓練が重要だと思う。

※事業所確認欄

□活動報告についての評価を受けることができたか。	○
□要望・助言等受ける機会を設けたか。	○